

第6次白老町総合計画審議会（第8回）会議要旨

日 時：令和元年12月26日（木）15:00～17:00

場 所：白老町役場 第1委員会室

出席者：岡田委員長、中野副委員長、北平委員、宇津宮委員、野瀬委員、牧野委員、倉地委員、宇佐見委員
 桑田委員 計9名

欠席者：笠井委員 計1名

事務局：【企画課】 工藤課長、温井主幹、安藤主任、金子主事、吉井主事 計5名

1. 開 会

2. 報 告

- （1）前回審議会における指摘事項の修正について
 ○事務局から説明

3. 議 事

- （1）基本計画（案）の検討について
 ○事務局から説明
 各委員からの意見等（別紙参照）
 ※意見等については事務局にて検討し、反映させていく

4. その他

5. 閉会

別紙（基本計画（案）の検討について）

○健康福祉分野

【北平委員】

- ・まちづくりワークショップ等で休日保育に対するニーズが高かったことから、28ページの基本事業2-3-4に「休日保育」も追加してほしい。

【倉地委員】

- ・23ページの2-1健康づくりの現状と課題について、「近年、急速な高齢化の進行から、生活習慣病が増加し」とあるが、生活習慣病の増加の主な要因は、生活習慣の変化によるものではないか。

【宇津宮委員】

- ・健康づくりの観点でインセンティブ制度を取り入れるなど、まちづくり全体に対して、もっと特色のある施策を展開すべきではないか。

【宇佐見委員】

- ・32ページの基本事業2-5-4に「成年後見制度の利用促進等」とあるが抽象的なため、例えば「市民後見人の養成」など、より具体的なものを追記したほうが良いのではないか。

【倉地委員】

- ・在宅での看取りを希望される方が多くいるなか、訪問診療が少ないなどの理由から看取りができていない状況にあるため、関係部署と協議したうえで追記を検討してもらいたい。
- ・町立病院の病床を減らすのであれば、往診をしてもらいたい。

○教育文化分野

【宇津宮委員】

- ・飛生アートコミュニティが町内で毎年行われているが、こういったイベントを町の観光や商業に結びつけることはできないのか。

【岡田委員長】

- ・公民館講座が減少しており、まちの文化振興を底上げするためにも回数を確保するなど取り組んでもらいたい。

【北平委員】

- ・47ページ、3-6人権のめざす姿の説明文に「あらゆる差別のない」とあるが、「偏見のない」の方が良いのではないか。

【牧野委員】

- ・現在、公民館の貸館料は、地域活動の場合も、趣味の場合も同額であるが、町が地域活動を支援していくのであれば地域活動での使用は無料にすべきであり、その旨を計画に掲載してほしい。

○経済産業分野

【宇津宮委員】

- ・ 53ページの4-2港湾について、現在の経済状況、港の規模をふまえた上で、将来発展する見込みはあるのか。

【事務局】

- ・ ウポポイの開設等により、今後クルーズ客船の寄港回数の増加が見込まれている。また、白老港は道内の地方港湾の中で取扱貨物量が11年連続1位であり、今後取扱貨物の種類も増やしていくと担当より伺っている。

【宇津宮委員】

- ・ 57ページの4-4観光について、人間の根本的な欲求である「食」に焦点を当ててもいいのではないか。

【事務局】

- ・ 「食」に関する具体的な事業については来年策定予定の実施計画に組み込まれると思う。また、59ページの4-5農林業でも「食」については記載されている。

【中野副委員長】

- ・ 現在、鮭の卵が不足している。また、養殖場で孵化した鮭は環境の変化に弱く、自然産卵を増やしていかなければならない。

【岡田委員長】

- ・ 鮭はアイヌ文化に根付いた魚であり、なくしてはならないものである。アイヌ政策推進交付金を活用するなどして、堰堤に魚道を作る等なんらかの対策を打ってほしい。

【宇津宮委員】

- ・ 友人で漁師をしている方がおり、白老町は地理的に栽培漁業が難しいと聞いた。大学等の研究機関との連携により、解決策を見いだすことはできないか。

○地域自治分野

【北平委員】

- ・ 69ページの5-3行財政運営について、めざす姿の「即応した」や「効率的で」という文言が、町民を置いてきぼりにするような印象を受けるため、サービス面での対応についても記載があった方が良いのではないか。

【牧野委員】

- ・ 町民サービスがきめ細やかに行き届くことは理想ではあるが、これからの時代は全部行政に任せるのではなく、ある程度町民にも自立性を持ってもらう必要があるのではないか。

【桑田委員】

- ・ 草刈りなど、今後町内会と町の役割についても考えていく必要がある。

○全体をとおして

【野瀬委員】

- ・ 予算を一律10%カットしていた時があったが、削れない必要経費もある。一律カットなどではなく、選択と集中をしていかなければならない。

○計画の実現に向けて

【岡田委員長】

- ・ 71ページ一番下の行の「行政資源（ひと・もの・金・情報）」の「金」を「予算」に書き換えてはどうか。